

英語科学習指導案

令和2年10月6日(火) 第5校時(13:35~14:25)

みなかみ町立月夜野中学校 3年1組

指導者 T1:〇〇 〇〇 T2:〇〇 〇〇

I 単元名 Unit 5 : Living with Robots- For or Against

(NEW HORIZON English Course 3 東京書籍)

II 学習指導要領上の位置付け

〔知識及び技能〕

エ、文、文構造及び文法事項

(イ) 文構造

b [主語+動詞+目的語]のうち、(b)主語+動詞+whatなどで始まる節

(ウ) 文法事項

i 現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法

〔思考力、判断力、表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ウ、日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

エ、話すこと(やり取り)

(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。

III 目 標

ア(知識・技能)

- ・分詞の後置修飾や間接疑問文の形・意味・用法を理解することができる。
- ・「ロボットとの暮らし」等に関して、事実や自分の考え、気持ちなどを進出言語材料や既習表現を使って議論する技能を身に付けている。

イ(思考力・判断力・表現力等)

- ・「ロボットとの暮らし」等について議論するために、読み取ったり話し合ったりしたことをもとにして、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、進出言語材料や既習表現を使って自分の立場について意見を伝えたり、相手の考えについて意見を述べたりすることができる。

ウ(学びに向かう力・人間性等)

- ・「ロボットとの暮らし」等について議論するために、読み取ったり話し合ったりしたことをもとにして、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、進出言語材料や既習表現を使って自分の立場について意見を伝えたり、相手の考えについて意見を述べたりしようとしている。

IV 指導計画 ※別紙参照

目標	「ロボットとの暮らし」等について議論するために、Retelling 活動で教科書の内容を読み取ったり、友達と話し合ったりする活動を通して考えを深め、討論会で自分の意見を伝え合うことができる。			
評価規準	<p>ア (知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分詞の後置修飾や間接疑問文の形・意味・用法を理解している。 「ロボットとの暮らし」等に関して、事実や自分の考え、気持ちなどを進出言語材料や既習表現を使って議論する技能を身に付けている。 <p>イ (思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ロボットとの暮らし」等について議論するために、読み取ったり話し合ったりしたことをもとにして、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、進出言語材料や既習表現を使って自分の立場について意見を伝えたり、相手の考えについて意見を述べたりすることができる。 <p>ウ (主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ロボットとの暮らし」等について議論するために、読み取ったり話し合ったりしたことをもとにして、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、進出言語材料や既習表現を使って自分の立場について意見を伝えたり、相手の考えについて意見を述べたりしようとしている。 			
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 (方法) (観点)
つかむ	1	<p>〈単元の課題〉「ロボットとの暮らし」について討論会を開き積極的に参加しよう。</p> <p>○既習事項を活用してロボットと暮らすことについて賛成か反対かを伝える活動を通して、議論するためにはどんなことが必要かを考えさせる。(試しの活動)</p> <p>「ロボットとの暮らし」について話し合い、議論するためにはどんなことが必要かを考えよう。</p>	<p>☆議論するには、賛成か反対かの立場を決める必要がある。</p> <p>☆相手を説得するためには、理由が必要だ。</p> <p>☆「賛成する」と言いたいときは「agree」が使える。</p> <p>☆「I think that～」を使って、考えを伝えることができた。</p>	<p>◇議論するために必要なことを考え、伝える英文に修正を加えている。</p> <p>〈観察・発表・ワークシート〉(ウ)</p>
	1	<p>○分詞の用法を理解させると共に、Retelling 活動を通して、Part1 の内容とそれに関連した自分の考えを友達に伝えさせる。</p> <p>自分が考えた「こんなロボットあったらいいな」を付け加えて Part1 の内容を Retelling しよう。</p>	<p>☆Part1 の内容に加えて、～ing や～ed の分詞をつかって自分の欲しいロボットについて説明できた。</p> <p>☆友達の紹介したロボットがおもしろかった。</p>	<p>◇分詞の使い方を理解し、自分の理想のロボットや Part1 の内容を伝えている。</p> <p>〈観察・ワークシート・やり取り〉(ア) (イ)</p>
追究する	1	<p>○間接疑問文を用いて様々なトピックについて質問し合う活動を通して、間接疑問文の用法を理解させる。</p> <p>「身近な人」「社会で活躍するロボット」「身近な道具」などについて、質問や説明をし合おう。</p>	<p>☆危険な場所で働くロボットについて説明できた。</p> <p>☆スマートフォンについて知っていることが説明できた。</p> <p>☆知らなかったロボットについて知ることができた。</p>	<p>◇間接疑問文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〈観察・ワークシート・ペアでのやり取り・発表〉(ア)</p>
	1	<p>○Part2 の Retelling 活動を通して、教科書の内容を理解させる。</p> <p>Part2 の内容を読み取り、Retelling して相手に伝えよう。</p>	<p>☆本文を読み込んで内容が理解できると、Retelling がしやうと感じた。</p> <p>☆ロボットは便利なのでともに暮らすことには賛成だ。</p>	<p>◇「ロボットとの暮らし」について本文の内容を読み取り、自分の言葉で相手に伝えることができる。</p> <p>〈観察・ペア活動・発表・振り返りカード〉(イ)</p>
	1	<p>○Part3 のディーパと光太のロボットに対する考えを読んで理解する活動を通して、感想を伝えることができるようにさせる。</p> <p>ディーパと光太の考えを読み取り、感想を言おう。</p>	<p>☆ディーパと光太の考えについて読み取れた。</p> <p>☆光太の意見も一理あると思った。</p> <p>☆今までロボットのよい面ばかり見ていたのだな。</p>	<p>◇ディーパと光太のロボットに対する考えを読み取り、感想を伝えている。</p> <p>〈観察・ペア活動・振り返りカード〉(イ)</p>
	1 本時	<p>○Part3 の Retelling 活動を通して、教科書の内容を理解させる。</p> <p>Part3 の内容を読み取り、40 語程度で Retelling して相手に伝えよう。</p>	<p>☆ディーパと光太の考え方を Retelling で伝えることができた。自分の気持ちや理由を言えたらもっと良かった。</p> <p>☆「I think that～」 「I agree with～」を使って、自分の思いを伝えることができた。</p>	<p>◇ディーパと光太のロボットに対する考えを読み取り、自分の言葉で相手に伝えることができる。</p> <p>〈観察・ペア活動・発表・振り返りカード〉(イ)</p>
1	<p>○Part4 の Retelling 活動を通して、教科書の内容を理解させると共に、議論に必要な表現を習得させ、自分の立場を決めて考えを伝えさせる。</p> <p>Part4 の内容を読み取り、自分の考えや気持ちを加えて Retelling しよう。</p>	<p>☆Part4 の内容に加えて、賛成の立場で自分の考えを伝えた。</p> <p>☆自分の知っているロボットについて話し、例を挙げることができた。</p> <p>☆ロボットとの生活での危険性についても考えることができた。</p>	<p>◇さきとアレックスの意見について読み取ったことを相手に伝えるとともに、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p> <p>〈観察・発表・振り返りカード〉(イ)</p>	

ま と め る	1	<p>○本単元で学んできた表現を活用してグループ内で 討論会をすることを通して、「ロボットとの暮らし」 についての自分の考えを深めさせる。</p> <p>〈本時のめあて＝単元の課題〉 これまで学んできた ことを生かして、「ロボットとの暮らし」につい て討論会を開き積極的に参加しよう。</p>	<p>☆「ロボットとの暮らし」につ いて、立場を決めて自分の意 見が言えた。</p> <p>☆友達の意見を聞いてなるほど と思うところがあった。</p> <p>☆議論したことで考えが深まっ た。</p>	<p>◇「ロボットとの暮らし」について、 相手の意見に対し、学んだことを用 いて自分の考えや気持ちを述べ合 うことができる。</p> <p>〈観察・振り返りカード〉 (イ) (ウ)</p>
	1	<p>○単元を通して学んだ表現を生かして様々な問題に ついて考えを述べ合う活動を通して、議論する力を 身に付けさせる。</p> <p>「優先席に座ってもよいか。」「制服はあった方が いいか。」「紙の辞書と電子辞書はどちらが便利 か。」などについて議論しよう。</p>	<p>☆友達の意見をしっかりと聞いて 尊重しながら自分の意見も 言えた。</p> <p>☆立場がなかなか決められなか ったが、友達の意見を参考に 考えが固まった。</p> <p>☆議論することは自分の考えが 伝えられておもしろかった。</p>	<p>◇様々な問題について、これまで学ん できた表現を生かして友達と意見 を交換し、議論に参加することがで きる。</p> <p>〈観察・発表・振り返りカード〉 (イ) (ウ)</p>

V 本時の展開 (6/9) 追究する過程

1 ねらい Part3 の Retelling 活動を通して、教科書の内容を理解させる。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子どもの意識
1	あいさつ、帯活動、Speed Input を行う。		
(1)	あいさつ・帯活動をする。(3分)		
	○「～についてどちらが好きか。」についてやり取りさせ、自分の考えを伝えさせる。		
	○言いたいけど言えない表現について取り上げ、共有する。		
(2)	Speed Input で新出単語や議論に必要な表現について練習する。(4分)		
2	本時のめあてをつかむ。(2分)		
	○生徒の気付きを大事にして目指す語数を共有し、生徒と共にめあてを設定する。		
Today's Goal Part3 の内容を読み取り、40語程度で Retelling して相手に伝えよう。			
3	本時の活動に取り組む。		
(1)	本文の並び換えをする。(3分)		
	○ペアになって、ディーパと光太の意見について、内容を確認させる。		
	○途中でピクチャーカードを提示してヒントを示し、最後に音声で確認させる。		
(2)	音読練習をする。(8分)		
	○新出単語を振り返らせる。		
	○十分に音読させ Retelling に必要な情報をインプットさせる。 →Repeating / 個人読み/ ペアワーク/ Read and Look up		
	○Retelling に必要なキーワードを意識させるために音読用のワークシートを使う。		
(3)	Retelling の練習をする。(5分)		
	○答えが Retelling で使う英文となるような質問を出し、必要なキーワードを意識させるようにする。		
	○質問の答えが英単語のみで出てきたら、英文で表現するように生徒の発話を引き出すようにする。		
<ul style="list-style-type: none">• What do robots make better? Our lives.• What can some robots do? ----- Put together products.• How can they work? ----- Quickly, precisely• Where can other robots work? -----In dangerous places.• Does Kota agree with Deepa' s idea? -----Yes, but in part.• Kota thinks robots are so efficient. So what is the problem? -----They are taking people' s jobs away.			

(4) Retelling 活動をする。(20分)

○Retelling 活動で気を付けるポイントや感想を伝えるために必要な表現を確認する。

数枚の絵について話す/絵の順番入れ替え可能/キーワードは使っても使わなくても可/
本文を暗記するのではなく自分の言葉で/メッセージを伝えることが大切
主語+動詞 / I think that~ / I agree with ~ 感想や意見

- ペアになり、picture や key words を参考に Retelling させる。(活動)
- 聞き手に1分間の発語数をカウントさせ、語数が増えることを目指せるようにする。
- 1回目の Retelling が終わったところで、「言いたかったけれど表現できなかったこと」等について確認する時間を設ける。また発語数が多い生徒を指名し発表させ、よかった点について確認し他の生徒の参考とさせる。(指導)
- 修正すべきことを意識させてから、2回目の Retelling をさせるようにする。(活動)
- 40語を達成できた生徒には、次に目指す姿として「自分の考えや気持ちを伝える」ことを意識させるよう、めあてに言葉を追加する。(指導)
- 聞き手は、話し手が話し終わったところで、Do you agree with ○○? など質問するよう促し、考えや気持ちを引き出すようにする。
- 主語+動詞が言えているか、複数の絵を Retelling できているか、感想が言えているか確認する。
- 語数が増えたこと、考えが伝えられたことに加えて、伝えようとする気持ちが出ていたことなどを賞賛する。
- Retelling したことを書かせ、伝えることができた内容を自覚させる。

評価項目：ディーパと光太のロボットに対する考えを読み取り、自分の言葉で相手に伝えることができる。

B (概ね満足) : 40語程度で内容に即して自分の言葉で伝えている。

A (十分満足) : 40語以上で内容に即して自分の言葉で伝え、かつ自分の考えや気持ちを伝えている。

〈 観察・ペア活動・発表・振り返りカード 〉

4 本時の振り返りをする。(5分)

- 振り返りシートに、言語面や内容面について振り返らせる。
 - ☆ディーパと光太の考え方を Retelling で伝えることができた。自分の気持ちや理由を言えたらもっと良かった。【言語面】
 - ☆「I think that~.」「I agree with~.」を使って、自分の思いを伝えることができた。【言語面】
 - ☆自分の立場について友達に話し、理由もいうことができた。【内容面】
 - ☆ロボットについて利点もあるし欠点もあると理解が深まった。【内容面】